

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-012

PDCA	事務事業名	畜産振興事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当	担当	榊原	
					内線等	317	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (1) 継続的・安定的な農業経営の促進 個別施策： ①担い手の育成					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	農家が実施する家畜伝染病予防やBSE全頭検査、豚熱ワクチン接種に対して、補助を行うことにより家畜防疫対策を図り、現状を把握し畜産振興に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	県指定の伝染病予防事業事務及び農家や関係機関との連絡調整。伝染病予防事業やBSE全頭検査、豚熱ワクチン接種について、農家に対する各種補助金の交付。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①伝染病予防検査補助金交付頭数	2297	1754	0	頭	
		②BSE全頭検査頭数	165	26	29	頭	
		③豚熱ワクチン接種頭数	—	—	8911	頭	
		事業費	1108	335	278	千円	
		人件費	1874	2484	1543	千円	
		総事業費	2982	2819	1821	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
	①伝染病予防検査牛1頭あたりの事業費	123	117	0	円		
	②BSE検査牛1頭あたりの事業費	5000	5000	5000	円		
	③豚熱ワクチン接種1頭あたりの事業費	—	—	15	円		
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①伝染病予防検査実施率	実績値	100	100	0	%
			目標値	100	100	100	
②BSE全頭検査実施率		実績値	100	100	100	%	
		目標値	100	100	100		
③豚熱ワクチン接種実施率		実績値			100	%	
	目標値			100			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の 評価・課題	B					
		牛の伝染病（ヨーネ病）予防検査は、コロナウィルス感染拡大防止の観点から実施が見送られたが、死亡牛のBSE検査及び豚熱（CSF）のワクチン接種の補助を行うことにより伝染病の蔓延防止を図った。また、万が一、家畜伝染病が発生した場合に、防疫対策が迅速に実施できるように、半田市家畜伝染病防疫対策マニュアルに沿った対策について、畜産農家及び関係機関と確認した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		現在、発生している家畜伝染病についての発生状況等を関係機関と情報共有し、畜産農家へ情報提供を行う。防疫対策についても引き続き徹底するよう畜産農家へ指導し、伝染病の蔓延防止を図る。また、豚熱（CSF）ワクチン接種をはじめとする伝染病予防や畜産振興を図るため補助を継続する。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①伝染病予防注射実施率	100	%			
		②BSE全頭検査実施率	100	%			
	③豚熱（CSF）ワクチン接種実施率	100	%				